

第1回日本国際音楽コンペティション (2022年度)

出場者150名/総動員数900名

後援：兵庫県・兵庫県教育委員会・姫路市・姫路市教育委員会

■予選 動画審査 (提出方法：You Tube、DVD発送)

2022年4月1日 (金)～6月30日 (木) 全部門 結果発表：7月15日 (金)

■本選：アクリエひめじ小ホール

2022年8月22日 (月) 打楽器、管楽器 結果発表：8月26日 (金)

2022年8月23日 (火) 弦楽器 結果発表：8月26日 (金)

2022年8月24日 (水) 声楽 結果発表：8月26日 (金)

2022年8月29日 (月) ピアノ 結果発表：9月2日 (金)

2022年8月30日 (火) ピアノ 結果発表：9月2日 (金)

■グランプリファイナル：アクリエひめじ小ホール

2022年12月26日(月) 管楽器・弦楽器・打楽器

2022年12月27日(火) ピアノ・声楽 結果発表：12月29日 (木)

■入賞者披露演奏会・表彰式：アクリエひめじ大ホール 2023年1月22日 (日)

JIMC開催趣旨

日本国際音楽コンペティションは広く有能な音楽家の発掘と育成に努め、活躍を推進すると共に世界各国との音楽・文化交流の推進・発展を目的とし開催する。

世界各国の優秀な音楽家を多く発掘し、新しい時代の音楽文化の発展を担いゆく人材の輩出のために貢献して参ります。

またジュニア世代の部門は未来ある子供の多様な可能性を後押し、豊かな感性や音楽性、想像力を育み、学ぶことを応援する。

夢を実現するための目標となる光り輝く場とする。

●コンセプト解説



説明 「青年が世界に羽ばたいていくイメージ」を、音符、鳥、JIMCの頭文字Jを組み合わせ表現しました。Jは音符の円以外の部分(鳥の胴体)で表しています。線や円の種類の数を限定することでより洗練されたロゴとなっています。また、円を多く用いることで親しみやすさも合わせています。色は赤と白を用いて音符の円の部分を日の丸に見立てることで日本を表しています。「日本」「音楽」「羽ばたく」「鳥」「JIMC」「洗練」がキーワードのロゴです。



■グランプリ

声楽部門 一般の部 十合翔子

兵庫県知事賞・兵庫県教育委員会賞・姫路市長賞・姫路市教育委員会賞

■管楽器部門

高校生(E)

第1位・姫路市教育委員会賞 クラリネット 打田桃菜

第3位 フルート 宮田恵

奨励賞 フルート 石原葵加

大学生(F)

第1位・姫路市長賞 フルート 中村心春

第3位 フルート 松本涼音

第3位 サックス 藤原祐太

奨励賞 フルート 古田琴美

奨励賞 ホルン 菊池ことり

一般 満23～満35歳(G)

第1位・姫路市長賞・特別賞 ファゴット 栗林愛理

第2位 オーボエ 伊藤早紀

第3位 オーボエ 西林彩菜

■弦楽器部門

小学1、2年生(A)

第3位 ヴァイオリン 池田彬人

小学5、6年生(C)

第3位 ヴァイオリン 八幡達

中学生(D)

第3位 ヴァイオリン 真崎幹

第3位 ヴァイオリン 吉田航

高校生(E)

第2位 ヴァイオリン 辻本健吾

大学生(F)

第2位 ヴァイオリン 福岡真凜

一般 満23～満35歳(G)

第1位・姫路市長賞 チェロ 中村仁

■打楽器部門

高校生(E)

奨励賞 スネアドラム 山田日菜

奨励賞 マリンバ 藏菌未侑

大学生(F)

第3位 マリンバ 山崎世知留

奨励賞 マリンバ 榎本耀

奨励賞 マリンバ 藤野真由

一般 満23～満35歳(G)

第2位・KOROGI賞 マリンバ 遠藤ふみ

第2位 マリンバ 細田銀爾

第2位 打楽器 白井康暉

第2位 打楽器 新堂帆士斗

■声楽部門

中学生(D)

第2位・特別賞 テノール 圓山裕大

高校生(E)

第2位・特別賞 ソプラノ 横川温花

大学生(F)

奨励賞 ソプラノ 森田千香子

一般 満23～満35歳(G)

グランプリ・兵庫県知事賞他 メゾソプラノ 十合翔子

第2位 ソプラノ 山本千尋

第3位 メゾソプラノ 影原真由美

■ピアノ部門

小学3、4年生(B)

第3位 前田ゆずあ

奨励賞 山本煌

小学5、6年生(C)

第2位 大野心春

中学生(D)

第3位 黒田桜名

第3位 布埜菜々子

奨励賞 相原圭吾

高校生(E)

第3位 本田詩織

奨励賞 庄司凜奈

大学生(F)

第3位 中里百花

第3位 石垣あやな

第3位 春日井里実

第3位 仁平井彩圭

奨励賞 四宮妃望

一般 満23～満35歳(G)

第1位・姫路市長賞 浦部晏未

第3位 仲井莉奈



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

管楽器部門 Wind



ザビエル・ラック Xavier Luck (フルート)

メルボルン大学を卒業後、英国王立音楽大学、ウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。ウィーン国立音楽大学の学生時代よりウィーンフィルハーモニー管弦楽団及び、ウィーン国立歌劇場の契約奏者を長年務めた。ロンドンフィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団、シドニー交響楽団、NHK交響楽団など、数々の世界的オーケストラにゲスト奏者として招かれ、演奏会、レコーディングを行う。兵庫芸術文化センター管弦楽団の初代フルート奏者を務めた後、2008年からソウルフィルハーモニー管弦楽団の副首席奏者を務めた。2013年より神戸女学院大学音楽学部准教授。



伊勢敏之 Toshiyuki Ise (トロンボーン・指揮)

大阪芸術大学芸術学部演奏学科卒業。現在、大阪芸術大学教授、大阪音楽大学特任准教授、大阪成蹊大学・女子高等学校吹奏楽部指導者を中心に、吹奏楽指導者・指揮者として活動。またトロンボーン奏者としても、テレマン室内管弦楽団など、関西のオーケストラや室内楽等のエキストラとして演奏活動。一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、日本吹奏楽指導者協会（JBA）、日本21世紀の吹奏楽“響宴”の各会員。日本吹奏楽指導者クリニックスタッフ。関西トロンボーン協会常任理事。トロンボーンを磯貝富治男、呉信一、伊藤清、室内楽を森下治郎、指揮を岩村力、増井信貴の各氏に師事。



ハラルド・ナエス Harald Naess (トランペット)

ノルウェー出身。9歳より父親が指揮を務めるブラスバンドでコルネットの演奏をはじめ。2002年ノルウェー国立音楽院卒業。学生時代よりオスロフィルハーモニー管弦楽団・ベルゲンフィルハーモニー管弦楽団・ノルウェー放送管弦楽団・スウェーデン放送交響楽団・ノルウェー王国海軍軍楽隊といった北欧の様々なオーケストラで演奏活動を行うと同時に、シモーネ・ヤング、マンフレッド・ホーネス、レイフ・セゲルスタム、マリス・ヤンソンス、ヘルベルト・プロムシュテットの指揮の下、ノルウェー国内外でツアーを行う。1994年より、オスロフィルハーモニー管弦楽団首席トランペット奏者であるヤン・フレデリック・クリスチャンセン氏に師事。ノルウェー王国海軍軍楽隊、兵庫県立文化芸術センター管弦楽団を経て、現在京都市交響楽団首席奏者。名古屋音楽大学客演教授、神戸女学院大学、京都ブラスバンド指揮者。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

弦楽器部門 Strings



木田雅子 Masako Kida (ヴァイオリン)

大阪音楽大学大学院修了。第29回全日本学生音楽コンクール高校の部全国第1位。多くのオーケストラと共演。TV、FMなど放送の分野でも多くの番組に出演、国内外で精力的な活動を続けている。阪神淡路大震災後チャリティ演奏活動をライフワークとして取り組んでおり、2015年にCDアルバム「朝の歌」を発表、その収益を震災復興支援として毎日新聞大阪社会事業団に全額寄付。2020年1月に「25年目の春へ」と題す公演を行い、収益を日本赤十字社を通じて寄付、金色有効賞受賞。日本学生音楽コンクールの審査員を長年務め、その他多くのコンクールの審査員を務める。現在、大阪音楽大学特任教授、兵庫県立西宮高校非常勤講師、日本弦楽指導者協会理事。



上塚憲一 Kenichi Kamitsuka (チェロ)

1981年京都市立芸術大学音楽学部卒業。チェロを黒沼俊夫氏、バロックチェロをA.ピルスマ、室内楽をG.ポッセ、S.スタンデイジの各氏に師事。1991年、1998年に大阪文化祭賞・奨励賞及び第15回神戸灘ライオンズクラブ賞を受賞。1992年第1回坂井時忠音楽賞を受賞。現在は大阪音楽大学教授、同音楽院登録講師、県立西宮高等学校音楽科非常勤講師。地域での活動として明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員、同管弦楽団運営副本部長、同ジュニア・オーケストラ常任トレーナー、アンサンブル・ジョワン音楽監督及び常任指揮者、アンサンブル・オルタンシア・神戸指揮者、チェロアンサンブルKobe音楽監督及び常任指揮者を務める。西宮音楽協会会員。



嶽崎あき子 Akiko Takezaki (ヴァイオリン)

愛知県立芸術大学音楽学部弦楽器専攻卒業。ドイツ国立ワイマール・フランツ・リスト音楽大学首席卒業。ソリストとして室内オーケストラ「フランツ・リスト・ワイマール」とバッハ作曲ヴァイオリン協奏曲を共演。MDR（中部ドイツラジオ放送局）にて多数の録音に携わる。Speyerer Morgenpost新聞、Die Rheinpfalz新聞にて賞賛される。ワイマール国立歌劇場オーケストラアカデミー卒業。その後ワイマール国立歌劇場オーケストラ契約団員となる。ドイツ国立ワイマール・フランツ・リスト音楽大学「国家演奏家資格ソリストコース」に在籍。同年、ドイツで行われた国際ヴァイオリンコンクールにおいて入賞と同時に特別賞を受賞。同年、DAAD（ドイツ学術交流会・学内1位）奨学金を授与される。同年、Joseph Joachim国際室内楽コンクールにてディプロマ取得。満場一致最高得点でドイツ国家演奏家資格を獲得の上、首席で卒業。日本演奏連盟会員。西宮音楽協会会員。日本弦楽指導者協会会員。



打楽器部門 Percussion



中谷 満 Mitsuru Nakatani (打楽器)

京都市立芸術大学卒業。大阪フィルハーモニー交響楽団にティンパニ・打楽器奏者として入団。旧西ドイツ国立芸術大学に留学。W. テーリヘン氏、K.キスナー氏に師事。ベルリン放送管弦楽団・ベルリン・ドイツオペラ管弦楽団などに出演。パーカッションアンサンブル「シュレーゲル」を主宰。大阪フィルを退団、相愛大学音楽学部教授に就任。酒井格作曲「ティンパニ協奏曲」を初演(龍谷大学吹奏楽団と共演)。大前哲作曲「ティンパニ協奏曲」を初演(相愛ウインドと共演)。W.テーリヘン作曲「ティンパニ協奏曲」を演奏(京都新祝祭管弦楽団と共演)。フライブルグ音楽大学にて同打楽器科定期公演に参加、マスタークラスを行う。大阪芸術大学大学院客員教授、徳島文理大学講師、同志社女子大学講師など歴任。滋賀県文化賞受賞。現在相愛大学音楽学部、相愛大学大学院音楽研究科教授。相愛高校音学科講師。日本管打コンクール審査員。関西打楽器協会副理事長。



塚越慎子 Noriko Tsukagoshi (マリンバ)

パリ国際マリンバコンクール第1位はじめ、ベルギー国際マリンバコンクール、世界マリンバコンクール等、国内外のコンクールにて受賞多数。皇居内桃華楽堂にて御前演奏、世界最大の打楽器フェスティバルPASICにてソリストとして出演他、アメリカ、ヨーロッパ、南米より招待を受け国際的に活動中。ソロ活動の他、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、群馬交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団ほかと共演し、高い評価を得ている。CDはこれまでに3枚リリース、デビューアルバムはレコード芸術誌にて特選盤に選出。国立音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。第22回出光音楽賞受賞。長い伝統と権威ある同賞において、初の打楽器奏者の受賞となる。

実行委員会 委員長

間瀬尚美 Naomi Mase (マリンバ)

同志社女子大学学芸学部音楽学科打楽器専攻卒業。同大学《頌啓会》特別専修課程修了。兵庫県立芸術文化センター大ホールにて「間瀬尚美ワンコインコンサート」等多数のコンサートに出演のほか、2015年には東京藝術劇場にて川瀬賢太郎指揮、日本フィルハーモニー交響楽団とマリンバ協奏曲をソリストとして共演。またアメリカカロサンゼルスにて「2008Zeltsman Marimba Festival」参加し、ファイナルコンサート出演。2019年メキシコにて「チャパス国際マリンバフェスティバル2019」に日本代表で招聘され、マスタークラスやコンサート等を行う。神戸新聞松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、神戸新人音楽賞コンクール優秀賞、ひょうごアーティストサロン賞、平成24年度兵庫県坂井時忠音楽賞、平成26年度神戸市文化奨励賞、平成28年度兵庫県芸術奨励賞各受賞。現在、大阪音楽大学、神戸女学院大学音楽学部、県立西宮高等学校音楽科各講師。





JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

声楽部門 Vocal Music



斉藤言子 Kotoko Saito (ソプラノ)

神戸女学院音楽学部卒・研究生修了。ミラノヴェルディ音楽院、南カリフォルニア大学（客員研究員）で学ぶ。国内外の声楽コンクールで受賞多数。日、伊、米にて数々のオペラ主演、リサイタル、宗教曲ソリスト、放送などで活躍。声、演技共磨きぬかれたテクニックと表現力、格調高いステージとの好評を得ながら幅広い演奏活動を展開している。指導者としても国内外で活躍する声楽家、コンクール入賞者を多数輩出している。各種声楽コンクール審査員。大阪国際音楽コンクール最優秀指導者賞、兵庫県学術教育功労賞、和歌山市文化賞、和歌山県文化功労賞受賞。イタリアペルージャ音楽祭特別招聘教授。現在神戸女学院大学名誉教授・学長(2015~2020)、関西二期会副理事長。



本山秀毅 Hideki Motoyama (バリトン・合唱指揮)

京都市立芸術大学、フランクフルト音楽大学合唱指揮科卒業。帰国後はバッハの教会音楽を中心に演奏活動を続ける。京都バッハ合唱団、バッハアカデミー関西を設立。教会暦による作品の全曲演奏シリーズを続けている。合唱音楽全般の普及についても意欲的で、合唱指導法、指揮法などの講習会の講師、NHK学校音楽コンクール、全日本学校音楽コンクールをはじめとするコンクールの審査員などを務める。また関西における管弦楽つきの合唱作品の合唱指導、プロの声楽アンサンブルにおける指揮、バロック期の劇音楽品の上演など活動は幅広い。京都市音楽新人賞、京都府文化功労賞、大阪文化祭賞、藤堂音楽褒賞、長井賞などを受賞。大阪音楽大学学長。びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者。京都バッハ合唱団主宰。



晴 雅彦 Masahiko Hare (バリトン)

大阪音楽大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員として独ベルリンに留学。独ケムニッツ市立劇場「魔笛」パパゲーノで欧州デビュー後、独ザクセン州立劇場、独ラインスベルク音楽祭、瑞ヴァドステーナ音楽祭、新国立劇場で活躍。チョン・ミョンフン、ペーター・シュナイダー、ダン・エッティンガー、ウルフ・シルマー等著名な指揮者や露レニングラード国立歌劇場管弦楽団と共演。「プレミアム・シアター」「名曲リサイタル」「題名のない音楽会」に出演。大阪府芸術劇場奨励新人、咲くやこの花賞、大阪文化祭奨励賞、兵庫県芸術奨励賞を受賞。富田林市文化振興事業団すばるホール・アドバイザー。ふるさと富田林応援団アンバサダー。大阪音楽大学教授。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

ピアノ部門 Piano



岡田将 Masaru Okada (ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科在学中に日本音楽コンクール優勝。モーツァルト音楽院、ベルリン国立芸術大学に留学。99年オランダのリスト国際ピアノコンクールに日本人として初めて優勝。国内外のオーケストラと共演。また、オール・リスト・シリーズ、バッハ：パルティータ全6曲コンサート、ベートーヴェン：ピアノソナタ全曲シリーズ、2018年にはリスト：超絶技巧練習曲全曲コンサートを開催し話題となる。また、同年12月にはスペインの巨匠チェリスト ルイス・クラレットとの共演でCD『ベートーヴェン：チェロ・ソナタ全集』（オクタヴィア／レコード芸術準特選盤）をリリース。高い評価を得ている。神戸女学院大学准教授。



釈迦郡洋介 Yousuke Syakagouri (ピアノ)

桐朋学園音楽部門演奏学科卒業。同大学研究科修了。ハンガリー国立リスト音楽院修了(ロームミュージックファンデーション奨学生)。飯塚 新人音楽コンクール第1位、宝塚ベガ音楽コンクール第1位。平成28年度坂井時忠音楽賞、平成29年度神戸市文化奨励賞、令和3年度兵庫県芸術奨励賞など受賞。2017年ブラームスのピアノソナタ全曲によるリサイタルや2020年ベートーヴェンの3大ソナタによるリサイタルは講評を博す。神戸新聞・神戸新聞文化財団主催「3台のピアノによるスーパーピアノフェスティバル」レギュラーメンバー。現在、神戸女学院大学、神戸山手女子高等学校、相愛大学、相愛高校音楽科各非常勤講師。兵庫県音楽活動推進会議、神戸芸術文化会議、神戸音楽家協会会員。



河内仁志 Satoshi Kawauchi (ピアノ)

兵庫県立西宮高等学校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部卒業。Ecole Normale musique de Parisにて研鑽を積む。第55回全日本学生音楽コンクール大阪大会ピアノ部門高校の部第1位。全国大会出場。第75回日本音楽コンクールピアノ部門第1位。併せて野村賞、井口賞、河合賞受賞。第12回マウロ・パオロ・モノーポリ国際ピアノコンクール(イタリア)第3位、聴衆賞受賞。これまでに東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、NHK交響楽団、京都市交響楽団、神戸市室内管弦楽団と共演。これまでに坂本恵子、徳末悦子、佐藤俊、田隅靖子、坂井千春各氏に師事。兵庫県立西宮高等学校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師。神戸市混声合唱団専属ピアニスト。OTOYAエンターテイメント所属。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

・ 日本国際音楽コンペティション 審査員

全部門 エグゼクティブプロデューサー
実行委員会 会長



榎本輝明 Teruaki Enomoto(テノール)

大阪音楽大学音楽学部最優秀賞を授与され首席卒業。ローマ・ミラノに留学。マルツィアーリ音楽院修了。全日本学生音楽コンクール高校の部西日本第1位、同コンクール大学・一般の部西日本第1位。兵庫県高等学校独唱コンクール第1位最優秀賞・神戸新聞社賞・審査員特別賞受賞。カンツォーネコンクール優勝。その他多数の受賞歴。ミラノ、姫路、大阪にてソロリサイタルを行う。関ジャニ∞ドラマシリーズ『ダブル複体』に出演。NHK・FM名曲リサイタル『ニューエイジ・クラシック』に出演や第九などオーケストラとの共演も多数。

株式会社アートインターナショナルオフィス 代表取締役。

